

報道関係者各位

2025.9
嵯峨嵐山文華館

嵯峨嵐山文華館 2026年企画展スケジュールのお知らせ

嵯峨嵐山文華館では、2026年も和歌・日本画・京都ゆかりの文化をテーマに、多彩な企画展を開催します。

2026年の幕開けは百人一首や和歌の世界を絵画と書で楽しむ「絵と書で楽しむ百人一首の世界」からスタートします。春から初秋にかけては、江戸時代の絵画界に革新をもたらした円山応挙（まるやまおうきょ）とその弟子たちの作品を紹介する「円山応挙とその弟子たち（仮）」を、秋から春にかけては、第8回ちはやふる小倉山杯の開催に合わせて「百人一首とかるたの世界展（仮）」を開催します。2026年も、嵯峨嵐山文華館ならではのキュレーションで嵐山からアートの魅力を発信してまいります。

嵯峨嵐山文華館 企画展スケジュール

2026年 1/31（土）～4/12（日）	絵と書で楽しむ百人一首の世界 —百人一首をはじめとして—
4/25（土）～9/27（日）	円山応挙とその弟子たち（仮）
10/3（土）～2027年 4/11（日）	百人一首とかるたの世界展（仮）

プレスリリースに関するお問合せ

嵯峨嵐山文華館広報事務局（共同ピーアール内）
担当：田中、樋口
TEL：03-6264-2045
Email：samac-pr@kyodo-pr.co.jp

2026.1.31（土）～4.12（日）

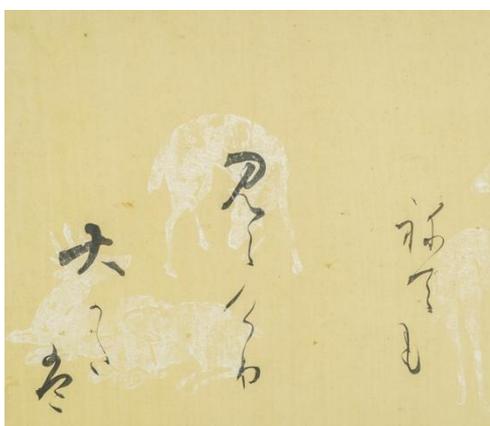
前期：1.31（土）-3.2（月）／後期：3.4（水）-4.12（日）

絵と書で楽しむ百人一首の世界

小倉百人一首は、最も親しまれている古典文学のひとつです。その撰者・藤原定家（ふじわらのていか）の山荘があったと伝えられる小倉山を臨む当館では、所蔵のかるたや百人一首にまつわる日本画に加え、「古今和歌集」や「和漢朗詠集」などに所収の秀歌を認めた書の芸術も併せて展示します。

本展では、藤原定家、尾形乾山（おがたけんざん）、土佐光貞（とさみつさだ）、本阿弥光悦（ほんあみこうえつ）といった、和歌や書に深く関わった名匠たちの作品を通して、文字と絵が織りなす優美な世界をお届けします。2021年より恒例となった、当館を会場として開催する競技かるた大会「ちはやふる小倉山杯」も7回目を迎え、本展期間中にあわせて楽しめます。

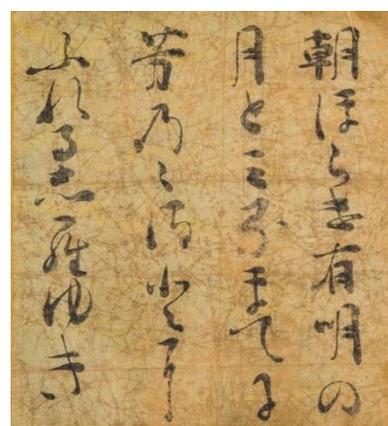
展覧会期間中、有名声優とのコラボレーションも予定しています。



本阿弥光悦《古今集和歌巻》
（部分）



長谷川宗園《百人一首手鑑》
（部分）



伝 藤原定家
《小倉色紙朝ほらけ》

2026.4.25（土）～9.27（日）

前期：4.25（土）-6.15（月）／中期：6.17（水）-8.3（月）／後期：8.5（水）-9.27（日）

円山応挙とその弟子たち（仮）

円山応挙（1733～1795）は、西洋の遠近法や陰影法を取り入れつつ、日本的な感性を生かした「写生」を重視する画法を確立し、江戸時代の絵画界に大きな革新をもたらしました。本展では、応挙の代表作《虎図》や《陶淵明図屏風》をはじめ、写実的でありながら温かみのある動物画や人物画、自然の景色を描いた屏風・掛軸などを展示します。



円山応挙《陶淵明図屏風》（部分）

また、弟子である源琦（げんき）、長沢芦雪（ながさわろせつ）、山口素絢（やまぐちそけん）らの多彩な作風を紹介するとともに、素絢の弟子である矢野夜潮（やのやちょう）の新発見作品約40点（展示替えあり）も特別公開します。師から弟子へと受け継がれ、さらに発展していった「新しい日本画」の系譜をたどります。

2026.10.3（土）～2027.4.11（日）

前期：10.3（土）-12.7（月）／中期：12.9（水）-2027.2.8（月）／後期：2.10（水）-4.11（日）

百人一首とかるたの世界展（仮）

ドラマの放映と共に再び、百人一首とかるたが注目を集めています。千年も前から伝わる和歌の数々は、時代や人種を超え、多くの人々の心に今なお響きます。当館の所蔵品である様々なかるたや絵画と共に、日本の伝統である「和歌」「かるた」に親しんでもらう企画展です。



《百人一首画帖》源重之

嵯峨嵐山文華館概要

■ 施設名称	嵯峨嵐山文華館
■ 開館時間	10:00～17:00（最終入館 16:30）
■ 休 館	展示替え期間、設備点検日、年末年始
■ アクセス	〒616-8385 京都市右京区嵯峨天龍寺芒ノ馬場町11 JR山陰本線（嵯峨野線）「嵯峨嵐山駅」下車徒歩14分 阪急嵐山線「嵐山駅」下車徒歩13分 嵐電（京福電鉄）「嵐山駅」下車徒歩5分
■ 料 金	〈嵯峨嵐山文華館〉 一般・大学生：1,000円 （高校生600円 小中学生400円 障がい者・付き添い各600円） 〈福田美術館との二館共通券〉 一般・大学生 ¥2,300 高校生 ¥1,300/小中学生 ¥750 障がい者と介添人1名まで 各¥1,300

プレスリリースに関するお問合せ

嵯峨嵐山文華館広報事務局（共同ピーアール内）
担当：田中、樋口
TEL：03-6264-2045
Email：samac-pr@kyodo-pr.co.jp

一般の方からのお問合せ

TEL：075-863-0606（代表） Email：info@fukuda-art-museum.jp

嵯峨嵐山文華館について

百人一首の歴史と日本画の粋を伝えるミュージアム

1000年以上も前から歌枕として詠まれ、愛されてきた嵯峨嵐山の風景。当館はこの地で誕生したと伝えられる百人一首の歴史やその魅力と、日本画の粋を伝えるミュージアムです。石段を上がり、冠木門をくぐって足を踏み入れると、春はしだれ桜、初夏はサツキツツジ、秋は紅葉、冬は冠雪と、四季の美しさを楽しめる石庭。百人一首ゆかりの小倉山を背にし、大堰川を借景として取り込む2階からの眺めは、まさに日本画の世界のようです。



1階の常設展示では100体の歌仙人形（フィギュア）と歌の英訳が並び、藤原定家によって百人一首が撰ばれた時から昨今人気の競技かるたに至るまでの変遷をご紹介します。また120畳の広々とした2階の畳ギャラリーでは、じっくり座って自由に鑑賞することも可能。石庭を望む明るいテラスにはカフェスペースが設けられており、景色を楽しみながらお寛ぎいただけます。

